

第155回 ほほえみ 開催

12月 21 日（水）第155回 ほほえみを開催しました。今回は3名の方が参加してくれました。

参加に際しましては、感染予防対策のため手指消毒・検温・連絡先の確認（感染予防にのみ使用します）をさせていただいておりますので、ご協力をお願い致します。

ほほえみでは、現在行っている集合型の開催以外にオンラインでの開催を検討しております。具体的な開催時期や方法が決まりましたら、改めてご案内させていただきます。

次回のほほえみは、1/18（水）14時から16時まで
本館3階 特別会議室での開催となりますのでご参加下さい。

【がんサロン事務局より】

『いつまで“がん患者”？』

（がん体験記）

がんになると、いつまで“患者”なのだろう。

たとえば、治療。

がんは治療に長い年月がかかる。その間は、きっと“患者”と言えるのかもしれない。
が、乳がんは、治療に10年かかることがある。それでも“患者”と言っていいのだろうか・・・。

治療が終わっても定期的な検査は続く。

普通の生活に戻りつつある中で、検査のために病院を訪れると気持ちは一気に病人だ。

そしてなにより、がんは再発の不安が大きい。

治療を終えてもその不安は消えない。

それどころか、治療を終えたことで、さらに不安は募る。

一度がんになると、気持ちはずっと“がん患者”なのかもしれないな・・・。

（北海道／女性／乳がん／がん患者本人）

